

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

| | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | 言語文化研究科ペルシア語専攻・講師 |
| 氏名 Name | Jahedzadeh Shorblagh Behnam |
| 専門分野 Academic Field | ペルシア語学・対照言語学 |

| | |
|---|------------------------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | ペルシア語移動動詞の特性、外国語としてのペルシア語教育論 |
| <p>1) ペルシア語の移動動詞について、āmadan (come) と raftan(go) の特性について研究を進め、英語と日本語の移動動詞との対照比較をして口頭発表を行った。</p> <p>◆ 口頭発表 Jahedzadeh Shorblagh Behnam 「ペルシア語の移動動詞 āmadan と raftan について」『第 35 回イラン研究会』（2016 年 3 月 26 日・27 日大阪大学豊中キャンパスにて実施）</p> <p>◆ 論文 ベヘナム・ジャヘドザデ「ペルシア語の移動動詞 āmadan と raftan の特性について—英語と日本語の移動動詞との対照比較を中心に」『イラン研究』第 13 号,pp.118–135 (2017 年 3 月 17 日発行予定)</p> <p>2) 外国語としてのペルシア語教育論に関して、「外国語教育における到達度目標国際基準とペルシア語教育への適用の可能性について」『日本の大学におけるペルシア語教育』（於：大阪大学豊中キャンパス）で口頭発表を行った上、論文も掲載した。</p> <p>◆ 口頭発表 「外国語教育における到達度目標国際基準とペルシア語教育への適用の可能性について」『日本の大学におけるペルシア語教育』（於：大阪大学豊中キャンパス）2016 年 1 月 29 日</p> <p>◆ 論文 ベヘナム・ジャヘドザデ「外国語教育における到達度目標国際基準とペルシア語教育への適用の可能性について」『イラン研究』第 13 号,pp. 58–79. (2017 年 3 月 17 日発行予定)</p> | |